

入域観光客統計概況

—平成21年度分—

平成21年度の入域観光客数は前年度を4.1%(24万4,300人)下回る5,690,000人で、8年ぶりに前年実績を下回った。
また、そのうち外国人観光客数は前年度を3.9%(9,200人)上回る246,200人で、過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|-------------|-------|---|-----------|----------|
| 国内 | 5,443,800 人 | 前年度比 | △ | 253,500 人 | (△ 4.4%) |
| 外国 | 246,200 人 | 前年度比 | + | 9,200 人 | (+ 3.9%) |
| 合計 | 5,690,000 人 | 前年同月比 | △ | 244,300 人 | (△ 4.1%) |

2. 月別入域状況

| | 平成21年度 | | | | (参考)平成20年度 | |
|-----|-----------|--------|-----------|--------|------------|-----------|
| | 総数 | 前年度比 | (うち外国人) | 前年度比 | 総数 | (うち外国人) |
| 4月 | 448,400 | 92.6% | (17,700) | 96.7% | 484,000 | (18,300) |
| 5月 | 423,300 | 92.6% | (11,700) | 46.6% | 456,900 | (25,100) |
| 6月 | 426,800 | 97.3% | (33,300) | 116.8% | 438,800 | (28,500) |
| 7月 | 527,800 | 100.5% | (33,000) | 102.2% | 525,400 | (32,300) |
| 8月 | 601,900 | 96.0% | (32,300) | 114.1% | 626,700 | (28,300) |
| 9月 | 515,200 | 96.3% | (28,200) | 116.0% | 535,000 | (24,300) |
| 10月 | 479,900 | 87.7% | (25,000) | 81.2% | 547,000 | (30,800) |
| 11月 | 426,300 | 87.8% | (15,000) | 82.4% | 485,500 | (18,200) |
| 12月 | 430,200 | 92.7% | (10,600) | 137.7% | 464,000 | (7,700) |
| 1月 | 418,300 | 99.5% | (9,400) | 113.3% | 420,300 | (8,300) |
| 2月 | 447,000 | 108.1% | (14,900) | 304.1% | 413,500 | (4,900) |
| 3月 | 544,900 | 101.4% | (15,100) | 146.6% | 537,200 | (10,300) |
| 年度計 | 5,690,000 | 95.9% | (246,200) | 103.9% | 5,934,300 | (237,000) |

3. 主な航路別・国籍別入域状況 (国内)

| | | | | | | | |
|------|-------------|------|---|-----------|-----------|--------|---------|
| 東京 | 2,680,800 人 | 前年度比 | △ | 118,400 人 | (△ 4.2%) | 国内客構成比 | (49.2%) |
| 関西方面 | 1,030,700 人 | 前年度比 | △ | 62,100 人 | (△ 5.7%) | 国内客構成比 | (18.9%) |
| 福岡方面 | 686,200 人 | 前年度比 | + | 13,200 人 | (+ 2.0%) | 国内客構成比 | (12.6%) |
| 名古屋 | 475,300 人 | 前年度比 | △ | 54,000 人 | (△ 10.2%) | 国内客構成比 | (8.7%) |
| その他 | 571,000 人 | 前年度比 | △ | 32,300 人 | (△ 5.3%) | 国内客構成比 | (10.5%) |

(外国)

| | | | | | | | |
|-----|----------|------|---|----------|-----------|--------|---------|
| 台湾 | 99,000 人 | 前年度比 | △ | 8,000 人 | (△ 7.5%) | 外国客構成比 | (40.2%) |
| 韓国 | 13,000 人 | 前年度比 | + | 4,000 人 | (+ 44.4%) | 外国客構成比 | (5.3%) |
| 中国 | 18,000 人 | 前年度比 | △ | 2,000 人 | (△ 10.0%) | 外国客構成比 | (7.3%) |
| 香港 | 29,000 人 | 前年度比 | △ | 2,000 人 | (△ 6.5%) | 外国客構成比 | (11.8%) |
| その他 | 87,200 人 | 前年度比 | + | 17,200 人 | (+ 24.6%) | 外国客構成比 | (35.4%) |

※国籍別入域者数は、沖縄県が収集した情報に基づく推計値であり、千人単位で四捨五入している。

4. 平成21年度の概況

(総数)

平成21年度上半期は、一昨年秋からの世界的な景気悪化に伴い旅行需要・旅行マインドが減少したこと、新型インフルエンザの影響などにより、7月を除いて前年同月実績を下回った。

下半期も、旅行マインドが低下するなか、円高基調による海外旅行の割安感や高速道路料金の値下げによる安・近・短志向等、他旅行先との競合が激化したことから厳しい状況が続いた。

そのため、年度として8年ぶりに前年実績を下回った。

(国内客)

平成21年4月から平成22年1月までは、景気低迷の影響を受け、旅行需要が減少したこと、新型インフルエンザの影響や安・近・短志向の強まりから減少した。

平成22年2月、3月は低価格商品や誘客プロモーションに支えられ、昨年比では前年実績を上回ったが、年度全体では、前年実績を下回った。

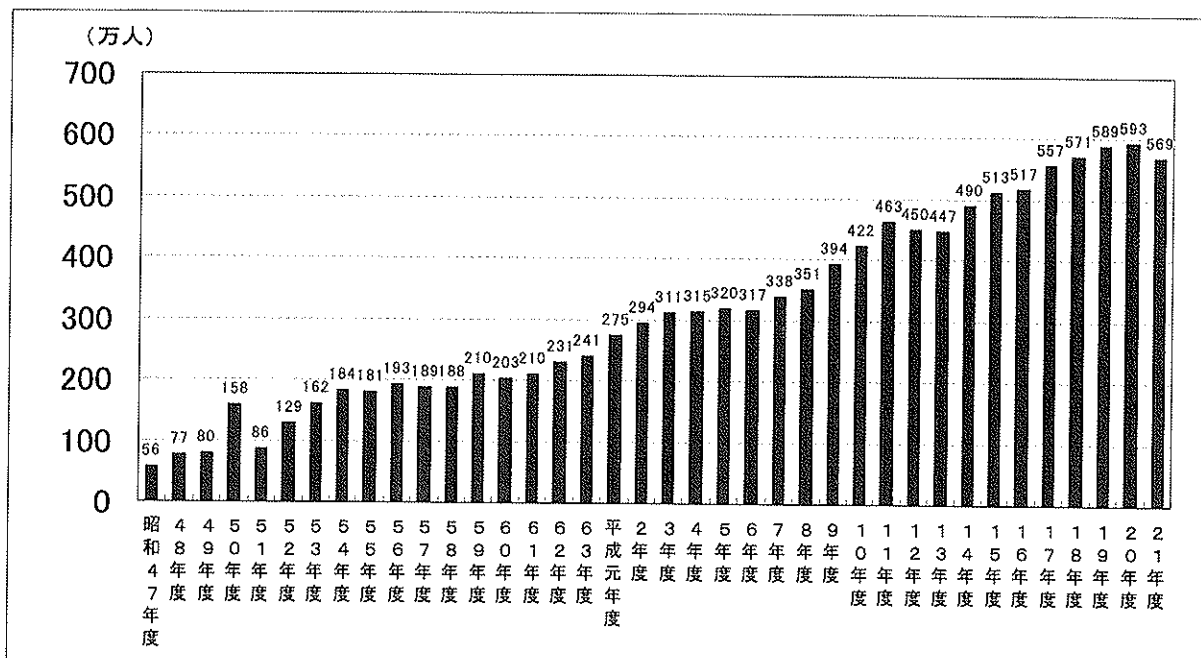
(国外客)

平成21年4月、5月は、世界的な景気悪化や円高傾向に加え、新型インフルエンザの日本国内発生があったことから、訪日旅行を手控える傾向が顕著だった。しかし、新型インフルエンザや景気が落ち着きを見せたことから、次第に回復した。

10月、11月は、台風の影響でクルーズ船の寄港が減少したこと、前年運航のあったチャーター便の運航がなかったことから、大きく減少したものの、12月以降、チャーター便の増加や不定期クルーズ船の寄港回数増加などで好調を維持し、前年度の実績を上回り過去最高の人数となった。

国籍別に見ると、アジア4地域は韓国以外、各方面で減少したものの、クルーズ船による欧米からの送客数が増加したため、前年度の実績を上回った。

5. 入域観光客数の推移(年度)



担当:観光企画課 宮良(みやら)
 TEL 098-866-2763
 FAX 098-866-2767

入域観光客統計概況

－平成21年4月分－

4月の入域観光客数は、448,400人。前年同月比は△7.4%(△35,600人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | |
|----|----------|-------|-----------|----------|
| 国内 | 430,700人 | 前年同月比 | △ 35,000人 | (△ 7.5%) |
| 外国 | 17,700人 | 前年同月比 | △ 600人 | (△ 3.3%) |
| 合計 | 448,400人 | 前年同月比 | △ 35,600人 | (△ 7.4%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | |
|------|----------|-------|-----------|-----------|-----|-------|
| 東京 | 206,200人 | 前年同月比 | △ 13,100人 | (△ 6.0%) | 構成比 | 46.0% |
| 関西方面 | 84,000人 | 前年同月比 | △ 12,400人 | (△ 12.9%) | 構成比 | 18.7% |
| 福岡方面 | 52,100人 | 前年同月比 | △ 1,600人 | (△ 3.0%) | 構成比 | 11.6% |
| 名古屋 | 40,100人 | 前年同月比 | △ 5,800人 | (△ 12.6%) | 構成比 | 8.9% |

3. 概況と見通し

国内客については、景気低迷に加え、円高や燃油サーチャージの値下げ、ETC料金の値下げなどにより他地域との競合が激化したため、前年同月実績を下回った。

外国客については、景気悪化による旅行市場の冷え込みや、大型クルーズ船の寄港が前年より少なかったことなどにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、ゴールデンウィークの実績は好調だったものの、5月中旬以降は引き続き景気悪化の影響を受けることや、新型インフルエンザの国内発生に伴う旅行予約のキャンセルや延期も一部にあることから、厳しい状況が続くものとみられる。

外国客については、5月は、クルーズ船の寄港予定が少ないため前年割れの見通しだが、6、7月には寄港予定が多くなるため、堅調に推移することが見込まれる。

4. 今後のトピックス

| 事項 | 内容 |
|-----------------------|---|
| 日本酒造組合中央会 第56回通常総会 | 日程:6月11日(木)～12日(金) 会場:ラグナガーデンホテル 主催:日本酒造組合中央会 参加規模:総数1000人(ほぼ県外) 初の沖縄開催になる、日本酒造組合中央会。全国2000社以上の酒類製造業者が加盟する同会の会員の約8割は清酒メーカーで、清酒の生産県以外での開催も初めてとなる。 |
| うたの日カーニバル 2009 | 日程:6月27日(土) ※雨天決行、荒天中止 会場:西原マリンパーク多目的広場 観客数(見込み):約5万人 内容:沖縄戦終結の日の前後に開催するこのイベントは、「うたの日コンサート」として親しまれ、2007年から「うたの日カーニバル」と名前を変えて無料で楽しめるようになった。今年と呼びかけ人であるBEGINをはじめ、県内アーティストのほか、明石家さんまやガレッジセールなど豪華な顔ぶれが勢揃い。 お問い合わせ先:うたの日実行委員会事務局(ピーエムエージェンシー内) 電話番号 098-898-1331 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)
TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気悪化による節約志向の中、円高や燃油サーチャージの値下げにより海外旅行へ注目が集まったこともあり、前年同月実績を下回った。
- 現時点で、5月から6月は客足が鈍く、厳しい状況である。全日空が、5月8日から、羽田＝沖縄線を増便したため、今後の集客増加に期待したい。

関西

- 日本経済の悪化により消費自体が落ち込んでいる。また、減便・機材縮小により提供座席数が減少していることもあり、前年同月実績を下回った。
- 旅行会社各社は、夏商品の販売に向けて、店頭キャンペーン等を実施し、集客に力を注いでいるが、集客状況は前年並みか前年以下と見込まれる。修学旅行については、5月からシーズンにはいるが、新型インフルエンザの感染拡大に伴い、中止や延期を決定または検討中の学校が出てきており、先行きは不透明である。

福岡

- 土、日、祝日のETCによる高速道路利用の家族旅行が増えており、安・近・短の志向が強まっている。さらに団体旅行も不調だったため、前年同月実績を下回ったが、3月、4月の新路線開設により、小幅な落ち込みにとどまった。
- 航空会社の5月から6月の予約状況は芳しくない。旅行会社各社でも5月から6月の個人向け商品の予約状況は、バラツキがあるものの、前年並か前年を下回っている状況。

名古屋

- 旅行控えが続くなか、旅行需要を喚起する要因となっていた、日本トランスオーシャン航空の名古屋＝石垣線が4月9日から一時的に運行を休止した影響もあり、前年同月実績を下回った。
- 5月から6月にかけては、廉価商品に動きはあるものの、既存商品が伸び悩んでいる。しかし、6月1日から、名古屋＝石垣路線の運行が再開されることから、6月以降は堅調に推移することが見込まれる。

2. 海外

台湾

- 台湾からのスタークルーズの運航開始時期が、3月から5月末にずれ込んだことも影響し、前年同月実績を下回った。
- 4月から航空会社及び大手旅行社による沖縄レンタカーパック商品が販売されており、売れ行きは好調とのこと。旅行会社の取り組みや沖縄旅行オンシーズンを迎え、送客数の落ち込みは回復傾向にある。

韓国

- 4月に入り、為替レートの安定とともに、富裕層を中心とした個別ツアーをはじめ、旅行会社25社による連合の商品に年配層からの人気が集まり、回復傾向が見られた。
- 5月は、2機のフェリーチャーター、5月9日からの石垣川平のチャーター便が週2便運行されることから、対前年同月並の実績が期待される。しかし、日本での新型インフルエンザ感染拡大に伴い、一部ツアーのキャンセルもあり、新規予約は低迷することが見込まれる。

上海(中国本土)

- 空路客は上海発の社員旅行が予定通り行われたこと、清明節3連休があったことから前年同月期を上回った。しかし、クルーズ船の寄港減少により海路客が減少したため、前年同月実績を下回った。
- 5月は上海・香港(広州)チャーターが造成されるため航空利用者は順調に推移するものと予想される。また、今年から上海発のクルーズが5月に1回、6月に3回寄港する予定である。

香港

- 香港エクスプレス航空の沖縄定期便運行開始以来、官民一体となった沖縄PRIにより沖縄の旅行先としての認知度が飛躍的に高まったことや、4月は前年の航空便数が少なかった反動もあり倍増している。
- 景気減速と円高が重なり、訪日旅行全体が低調。5月は同定期便が週4回運行されることやゴールデンウィークにチャーター便があったことにより、前年同月並となることが見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成21年5月分—

5月の入域観光客数は、423,300人。前年同月比は△7.4%(△33,600人)だった。4月から5月までの入域観光客数の累計は、871,700人。前年同期比は△7.4%(△69,200人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|----|--------|
| 国内 | 411,600人 | 前年同月比 | △ | 20,200人 | (△ | 4.7%) |
| 外国 | 11,700人 | 前年同月比 | △ | 13,400人 | (△ | 53.4%) |
| 合計 | 423,300人 | 前年同月比 | △ | 33,600人 | (△ | 7.4%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|----|--------|-----|-------|
| 東京 | 187,200人 | 前年同月比 | △ | 300人 | (△ | 0.2%) | 構成比 | 44.2% |
| 関西方面 | 86,000人 | 前年同月比 | △ | 12,900人 | (△ | 13.0%) | 構成比 | 20.3% |
| 福岡方面 | 52,000人 | 前年同月比 | | 0人 | (| 0.0%) | 構成比 | 12.3% |
| 名古屋 | 36,300人 | 前年同月比 | △ | 1,900人 | (△ | 5.0%) | 構成比 | 8.6% |

3. 概況と見通し

国内客については、ゴールデンウィーク期間中は好調だったものの、それ以降は日本国内における景気低迷に加え、新型インフルエンザによる出張・旅行手控えの影響も受け、前年同月実績を下回った。

外国客については、景気悪化による旅行市場の冷え込みや、大型クルーズ船の寄港が前年と比べ大幅に少なかったことなどにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、景気に一部下げ止まりの動きが見られるものの、夏季ボーナスの減少に伴う節約志向や雇用情勢の悪化による不安感の継続から旅行マインドが低下し、厳しい状況が続くものとみられる。

外国客については、新型インフルエンザの影響により先行きは不透明だが、台湾からのクルーズ船が6月から定期的に寄港する予定であることから、その効果に期待したい。

4. 今後のトピックス

| 事項 | 内容 |
|-------------------------|--|
| 海洋博公園サマーフェスティバル2009 | 日程:7月18日(土) 会場:海洋博公園内エメラルドビーチ ※荒天の場合、中止または規模を縮小して実施。 内容:海洋博公園サマーフェスティバルでは、伊江島を望む海から県内最大10,000発もの花火が打ち上げられます。さらに昼花火もあるほか、花火大会前の夕方から始まるサンセットコンサートでも、夕日の沈む海をバックにさまざまなジャンルのアーティストたちがライブを繰り広げます。 観客数:約5万人 お問い合わせ先:(財)海洋博覧会記念公園管理財団 海洋博公園管理センター |
| 夏祭りin那覇2009 一万人のエイサー踊り隊 | 日程:7月31日(金)~8月2日(日) 会場:国際通り(安里三叉路~パレットくもじ前交差点) 今年の観客数:約9万人 内容:沖縄の夏の風物詩ともいえる「エイサー」。一万人のエイサー踊り隊は、県内各地の青年会による伝統的なエイサーから創作エイサー、子供たちのエイサーなど、さまざまな団体によるエイサーが繰り広げられる熱いイベントです。 お問い合わせ先:夏祭りin那覇実行委員会 電話番号 098-863-2755 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気悪化による節約志向の中、ゴールデンウィーク期間中が好調だったことや提供座席数の増加もあり小幅な減少にとどまった。
- 夏のボーナスカットや減額の企業も少なくないため、旅行需要を喚起する期待感は薄い。7月は前年が大幅な増加だったこともあり、前年同月実績を上回るのには厳しい状況である。

関西

- ゴールデンウィークまでは好調だったものの、新型インフルエンザの国内発生による関西発の旅行自粛が影響し、前年同月実績を下回った。
- 旅行会社各社は、夏商品の販売に向けて、店頭キャンペーン等を実施し、集客に力を注いでいるが、新型インフルエンザに伴う旅行自粛により、予約の出足が鈍くなっている。

福岡

- 景気低迷の影響や高速道路料金値下げによる近距離旅行人気が続くなか、3月、4月から開設された新規路線に支えられ、前年同月実績を維持している。
- 旅行会社各社の6、7月の予約状況は、出張・旅行手控えの影響が続き、個人旅行商品を中心に低調。しばらくは厳しい状況が続くものと見込まれる。

名古屋

- 不景気による出張・旅行手控えに加え、日本トランスオーシャン航空の名古屋＝石垣線が5月中は運行を休止していたことなどから、前年同月実績を下回った。
- 旅行会社各社の予約状況は、引き続き不景気感を受け、全体的に伸び悩んでいる。旅行会社各社は航空会社と連携した商品で需要喚起を図っているが、引き続き厳しい状況が続くものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- 前年よりもクルーズ船の寄港予定が少なかったことに加え、5月末より運行再開予定であった台湾からの定期クルーズ船の石垣港への寄港が、燃料タンクのトラブルによりキャンセルされたこともあり大幅な減少となっている。
- スタークルーズが6月から定期的に那覇・石垣港へ寄港する予定であることから、海路については前年並みの水準を確保できると見込まれる。

韓国

- 新型インフルエンザ発生の影響による一部キャンセルはあったものの、個人旅行の伸びやチャーター便による送客などにより、前年同月実績を大きく上回った。
- 6月に入り、新型インフルエンザ発生の影響などにより社会全般に旅行自粛ムードが広がり、新規予約は低迷していたが、次第に落ち着き、為替レートも安定してきていることから7月中旬からは、夏休みに向けて予約も回復するものと見込まれる。

上海(中国本土)

- クルーズ船の寄港が減少したこと、新型インフルエンザの影響を受け一般団体旅行が低調だったことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 航空便利用者は順調に推移しており、さらに上海発クルーズが6月に3回寄港予定であるため、今後の回復が期待される。

香港

- 香港エクスプレス航空の沖縄定期便運行開始から1年が経過し、官民一体となった沖縄PRにより、旅行先としての認知度が飛躍的に高まったことから、前年同月実績を上回った。
- 新型インフルエンザの域内感染が発覚し、6月12日から、香港全ての幼稚園・小学校が2週間の全面休校措置となったことにより、旅行需要は当面冷え込むものと見込まれる。

入域観光客統計概況

－平成21年6月分－

6月の入域観光客数は、426,800人。前年同月比は△2.7%(△12,000人)だった。4月から6月までの入域観光客数の累計は、1,298,500人。前年同期比は△5.9%(△81,200人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|----|--------|
| 国内 | 393,500人 | 前年同月比 | △ | 16,800人 | (△ | 4.1%) |
| 外国 | 33,300人 | 前年同月比 | + | 4,800人 | (+ | 16.8%) |
| 合計 | 426,800人 | 前年同月比 | △ | 12,000人 | (△ | 2.7%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|----|-------|-----|-------|
| 東京 | 187,100人 | 前年同月比 | △ | 13,100人 | (△ | 6.5%) | 構成比 | 43.8% |
| 関西方面 | 75,900人 | 前年同月比 | △ | 2,900人 | (△ | 3.7%) | 構成比 | 17.8% |
| 福岡方面 | 51,700人 | 前年同月比 | + | 1,100人 | (+ | 2.2%) | 構成比 | 12.1% |
| 名古屋 | 37,900人 | 前年同月比 | △ | 2,200人 | (△ | 5.5%) | 構成比 | 8.9% |

3. 概況と見通し

国内客については、県外－離島路線の伸びや新規路線開設による増便効果があったものの、消費者の節約志向、海外旅行との競合等の影響により、前年同月実績を下回った。

外国客については、中華航空による一日一往復の欠航延長により空路客は減少したが、クルーズ船の寄港が前年よりも多かったことから、全体では前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、7月上旬は好調だったものの、それ以降の消費者の動きは鈍く、8月は前年並みか前年割れが見込まれる。9月の大型連休は予約が好調なことから、回復傾向で推移するとみられる。

外国客については、クルーズ船の寄港予定が前年を上回っているため、順調に推移すると見込まれる。空路については、香港エクスプレス航空がデイリー運航を開始したこと等から、香港、中国方面からの入域客増に期待したい。

4. 8月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|------------------------|--|
| 2009沖縄伝統空手道世界大会 | 日程:8月14日(金)～16日(日) 場所:沖縄県立武道館 参加者:総数5,500人(海外822人、県外178人、県内4,500人) 問い合わせ先:沖縄伝統空手道世界大会実行委員会事務局 |
| 第59回 全国高等学校PTA連合大会沖縄大会 | 日程:8月26日(水)～28日(金) 場所:沖縄コンベンションセンター他 参加規模:総数12,000人(県外11,000人、県内1,000) 主催:社団法人 全国高等学校PTA連合会 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)
TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気低迷を背景とした節約志向に加え、航空会社が6月末から一週間、大幅な割引を実施したことで6月の需要が7月上旬にシフトしたことも影響し、前年同月実績を下回った。
- 7月上旬は航空運賃割引により増加となったが、旅行市場はパッケージ商品の売れ行きが悪さが続いていることから7、8月は前年並みの集客は厳しい見通し。

関西

- 景気低迷や新型インフルエンザの影響による旅行手控えがあったこと等から、前年同月実績を下回った。
- 7、8月は、提供座席数の減少等により前年並みの集客は厳しい状況だが、9月は、大型連休や修学旅行の振り替えがあることから、前年を上回ることが見込まれる。

福岡

- 消費者の節約志向や高速道路料金値下げによる近距離旅行人気が続くなか、3月、4月から新規路線が開設されたことによる増便効果があったこと等から、前年同月実績を上回った。
- 7、8月は大会開催などによる団体客の集客が見込まれるが、9月の連休に予約が集中したことによるお盆時期の旅行手控えや衆議院議員選挙の影響もあり、不透明な状況である。

名古屋

- 6月から名古屋－石垣線が運航を再開し約3000人を集客したが、不景気や海外旅行の割安感の影響もあり、在来線が伸び悩んだため前年同月実績を下回った。
- 名古屋高速道路のETC料金の割引が夏休み期間から実施されることや、海外旅行との競合もあり、沖縄への送客には厳しい状況が続くものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- 中華航空の減便延長により空路客は落ちこんだものの、スタークルーズの運航が再開し順調に送客を行っていることから、前年同月実績を上回った。
- 消費者の旅行需要が依然として、回復していないことにより空路客は伸び悩むが、海路客については順調に推移しており、全体としては前年並みの水準を確保できると見込まれる。

韓国

- 円に対する韓国ウォンの為替レートは持ち直しているものの、前年同月に比べると安く、訪日旅行の経費負担となっており、前年同月実績を下回った。
- 景気低迷と物価上昇による旅行商品の販売価格上昇等マイナス要因はあるものの、7、8月はインセンティブツアーが数件予定されていることから大きな落ち込みは無いとみられる。

上海(中国本土)

- 航空便利用者は順調に推移しており、さらに今月は上海からのクルーズ船の寄港があったことから、前年同月実績を上回った。
- セミナーやプロモーション活動が昨年度より活発に行われており、7月からは中国からの個人旅行ビザが解禁されたため、夏場の集客に期待したい。

香港

- 香港エクスプレス航空が沖縄定期便の運行を開始してからの官民一体となった沖縄PRにより、沖縄の旅行先としての認知度が飛躍的に高まったこと等により、前年同月実績を上回った。
- 7月から香港エクスプレス航空の定期便がデイリー化され、さらに8月からは週9便の運航を予定していることから、観光客数は順調に推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

－平成21年7月分－

7月の入域観光客数は、527,800人。前年同月比は+0.5%(+2,400人)だった。
4月から7月までの入域観光客数の累計は、1,826,300人。前年同期比は△4.1%
(△78,800人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|--------|----------|
| 国内 | 494,800人 | 前年同月比 | + | 1,700人 | (+ 0.3%) |
| 外国 | 33,000人 | 前年同月比 | + | 700人 | (+ 2.2%) |
| 合計 | 527,800人 | 前年同月比 | + | 2,400人 | (+ 0.5%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|--------|----------|-----|-------|
| 東京 | 252,200人 | 前年同月比 | + | 900人 | (+ 0.4%) | 構成比 | 47.8% |
| 関西方面 | 94,000人 | 前年同月比 | △ | 1,000人 | (△ 1.1%) | 構成比 | 17.8% |
| 福岡方面 | 57,100人 | 前年同月比 | + | 1,800人 | (+ 3.3%) | 構成比 | 10.8% |
| 名古屋 | 40,600人 | 前年同月比 | △ | 3,000人 | (△ 6.9%) | 構成比 | 7.7% |

3. 概況と見通し

国内客については、航空会社各社による航空運賃の大幅な割引により7月前半の旅行需要が好調だったこと、増便や臨時便の運航があったことなどから前年同月実績を上回った。

外国客については、空路客は景気低迷の影響を受け減少したが、クルーズ船の寄港が前年よりも多かったため、前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、8月は、需要の一部が9月の大型連休にシフトしたことや台風8号による欠航の影響もあり、前年同月を下回る見通し。新型インフルエンザの感染拡大に伴う、秋の旅行需要に与える影響も懸念される。

外国客については、クルーズ船の寄港予定が前年を上回っているため、海路客は順調に推移すると見込まれる。空路客については、台湾における台風8号による被災や沖縄での新型インフルエンザ流行などにより旅行マインドが低下し、当面厳しい状況が続くものと見込まれる。

4. 9月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|---|--|
| 第54回 沖縄全島エイサーまつり | 日程:9月11日(金)～9月13日(日) 場所:沖縄市コザ運動公園 陸上競技場 内容:「エイサー」は、各地の青年会によって演じられている沖縄の盆踊りです。沖縄全島エイサーまつりでは、広い会場に県内で活躍する青年会や子供エイサー、琉球國祭り太鼓などが出演し、エイサー尽くしの3日間を楽しむことができます。 参加人数:約31万人 問い合わせ先:沖縄全島エイサーまつり実行委員会(沖縄市経済文化部文化観光課内) |
| プロバスケットボール 日韓チャンピオンズシップゲーム『琉球ゴールデンキングス(日本代表)×KCCイーゼス(韓国代表)』 | 日程:9月20日(日) 16時試合開始 場所:沖縄コンベンションセンター 主催:bjリーグ、韓国バスケットボールリーグ(KBL)、琉球キングス 内容:bjリーグでは、リーグ発足時から各国プロリーグとの交流試合を行っており、その一環として2006年より日韓の優勝チームによるチャンピオンズシップゲームを開催しています。試合の様子は、韓国及び日本のテレビで放映される予定です。 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 東京路線の増便・臨時便の運航に加え、航空会社が6月末から一週間、大幅な割引を実施したことで7月上旬が好調だったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 8月は、台風8号による欠航の影響や9月のシルバーウィークへの需要のシフトなどにより、前年並みの集客は厳しい見通し。9月以降、新型インフルエンザによる影響があることも懸念される。

関西

- 燃油サーチャージ廃止による海外旅行人気や関西空港発着便の減便・機材縮小による提供座席数減少の影響などを受け、前年同月実績を下回った。
- 8月は、提供座席数の減少や台風8号の影響等により、前年並みの集客は厳しい状況だが、9月は、大型連休に加え、臨時便の運航もあることから、前年を上回ることが見込まれる。

福岡

- 消費者の節約志向が続いているものの、新規路線開設による増便効果や、団体需要が比較的好調だったことにより、前年同月実績を上回った。
- 8月は旅行時期の分散化、ETC料金の値下げ、総選挙による旅行手控えの影響を受け、伸び悩んでいる。9月は、大型連休を中心に順調に推移しており、前年並みの集客が見込まれる。

名古屋

- 廉価商品は比較的好調だったが、不景気による個人消費の弱含みに加え、前年同月が好調だったことへの反動もあり、前年同月実績を下回った。
- 8月は、比較的旅行料金の安い9月の大型連休に需要がシフトしたこともあり、前年を下回る見通し。新型インフルエンザによる影響もあり、今後も厳しい状況が続くものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- 空路客は落ちこんだものの、スタークルーズが昨年同月を上回るペースで順調に送客を行っていることから、前年同月実績を上回った。
- 中華航空が8月も一定数の減便を実施しているため空路客は伸び悩むが、海路客については、前年よりも多くクルーズが予定されているため、全体としては前年並みの水準を確保できると見込まれる。

韓国

- インセンティブツアーの回復やチャーター便の実績はあったものの、韓国国内の景気低迷による海外旅行手控えの影響を受け、前年同月実績を下回った。
- 沖縄における新型インフルエンザ感染拡大の報道により、沖縄旅行の予約取り消しが数件発生しており、9月頃まで影響を与えることが懸念される。

上海(中国本土)

- 外国への出張・インセンティブ旅行が手控えられていることや、ツアーの造成が昨年同月よりも少なかったことなどが影響し、前年同月実績を下回った。
- 上海定期路線を利用したツアー造成の動きは鈍く、沖縄での新型インフルエンザ流行を受けた今後の影響が懸念される。

香港

- 昨年は週2回運航されていたビバマカオ航空のチャーター便が無くなったことにより、航空提供座席総数が減少したことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 香港エクスプレス航空の搭乗率が安定しており、8月から週9便の運航が開始されていることから、観光客数は順調に推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成21年8月分—

8月の入域観光客数は、601,900人。前年同月比は△4.0%(△24,800人)だった。4月から8月までの入域観光客数の累計は、2,428,200人。前年同期比は△4.1%(△103,600人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|-----------|
| 国内 | 569,600人 | 前年同月比 | △ | 28,800人 | (△ 4.8%) |
| 外国 | 32,300人 | 前年同月比 | + | 4,000人 | (+ 14.1%) |
| 合計 | 601,900人 | 前年同月比 | △ | 24,800人 | (△ 4.0%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|----------|-----|-------|
| 東京 | 279,000人 | 前年同月比 | △ | 13,500人 | (△ 4.6%) | 構成比 | 46.4% |
| 関西方面 | 115,000人 | 前年同月比 | △ | 10,600人 | (△ 8.4%) | 構成比 | 19.1% |
| 福岡方面 | 69,100人 | 前年同月比 | + | 1,100人 | (+ 1.6%) | 構成比 | 11.5% |
| 名古屋 | 47,600人 | 前年同月比 | △ | 3,600人 | (△ 7.0%) | 構成比 | 7.9% |

3. 概況と見通し

国内客については、9月の大型連休にお盆時期の需要がシフトしたことや台風8号による欠航の影響などを受け、前年同月実績を下回った。

外国客については、空路客は景気低迷や新型インフルエンザ感染拡大の報道の影響を受け減少したが、クルーズ船の寄港が前年よりも多かったため、前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、9月は、大型連休を中心に旅行需要は好調なもの、その他の期間は伸び悩んでおり、前年同月程度になる見通し。10月以降は、大型の大会が予定されているが、新型インフルエンザによる影響が懸念される。

外国客については、クルーズ船の寄港予定が前年を上回っているため、海路客は順調に推移すると見込まれる。空路客については、沖縄県での新型インフルエンザ流行などにより旅行マインドが低下し、当面厳しい状況が続くものと見込まれる。

4. 10月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|-------------------------|---|
| 第39回 那覇まつり(那覇大綱挽) | 日程:10月10日(土)~10月12日(月) 場所:国道58号線 久茂地交差点・国際通り・奥武山公園 内容:那覇まつりのメインイベント「那覇大綱挽」は、1600年代に始まったといわれる歴史ある大綱挽で、沖縄のメイン道路である国道58号でおこなわれます。ギネスブックにも登録されている全長200mの大綱を東西に分かれて、「ハイヤ、ハイヤ」のかけ声のもとで挽き合うダイナミックな綱挽です。 昨年の参加者数:約28万人 問い合わせ先:那覇市観光経済部観光課 |
| 第58回 JC全国会員大会 沖縄那覇大会 | 日程:10月15日(木)~18日(日) 場所:沖縄コンベンションセンター 参加人数:約2万人(県外・見込み) 問い合わせ先:第58回JC全国会員大会沖縄那覇大会 大会事務局(那覇JC) TEL 098-852-1821 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 8月の旅行需要が9月の大型連休にシフトしたことや台風8号による欠航の影響、新型インフルエンザ発生の影響等により、前年同月実績を下回った。
- 9月は大型連休は好調なもの、他の期間は弱含んでいる。10月以降、新型インフルエンザの感染拡大や消費者の節約志向の影響を受け、厳しい状況が続くものと見込まれる。

関西

- 景気の低迷により旅行先が近場にシフトされたことや、9月の大型連休に人気集中したこともあり、前年同月実績を下回った。
- 9月以降は、大型連休や臨時便の運航など増加要因はあるものの、新型インフルエンザの影響による団体客や修学旅行のキャンセルが発生していることもあり、前年同月並みか前年同月以下になるものと見込まれる。

福岡

- 消費者の節約志向が続いているものの、新規路線開設による増便効果や、団体需要が比較的好調だったことにより、前年同月実績を上回った。
- 9月は、沖縄県での新型インフルエンザ感染拡大を受け、大型連休を含め取り消しが発生している。10月以降の予約状況も低迷しており、厳しい状況が見込まれる。

名古屋

- 不景気による旅行手控えに加え、お盆期間の需要が9月の大型連休にシフトしたことにより、前年同月実績を下回った。
- 9月は大型連休を中心に順調に推移しているが、10月以降は、新型インフルエンザ流行による旅行の延期や中止が懸念され、厳しい状況が続くものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- 8月は、個人旅行の需要が好調だったことやスタークルーズが昨年同月を上回るペースで送客を行ったことにより、前年同月実績を上回った。
- 9月以降もクルーズ船の寄港が昨年よりも多いことや、個人旅行が引き続き好調であることから、前年並みで推移することが見込まれる。

韓国

- 8月は、個人旅行や石垣クラブメッドのチャーター便による送客が好調だったこともあり、前年同月実績を上回った。
- 9月以降には、ゴルフツアーの問い合わせや100人規模のインセンティブツアーの動きもあるが、沖縄県における新型インフルエンザの感染拡大について韓国国内で大きく報道されているため、今後の影響が懸念される。

上海(中国本土)

- 景気低迷の影響を受け、空路客は伸び悩んでいるが、上海着のクルーズ船の寄港があったことにより、前年同月実績を上回った。
- 9月の大型連休に杭州からのチャーター便が就航予定であることや、国慶節に向けてのツアーも造成されていることから順調に推移することが見込まれる。

香港

- 昨年8月に催行されていたビバマカオ航空のチャーター便が今年はなかったこと、さらに、今年予定されていたEGLツアーズのチャーター便が新型インフルエンザ流行のため中止になったことにより、前年同月実績を下回った。
- 8月に引き続き、9月も香港エクスプレス航空が週9便の運航を予定していることや、9月後半から10月上旬まで、国慶節の需要を見込んで同航空会社が一日2便の就航を予定しているため、順調に推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成21年9月分—

9月の入域観光客数は、515,200人。前年同月比は△3.7%(△19,800人)だった。4月から9月までの入域観光客数の累計は、2,943,400人。前年同期比は△4.0%(△123,400人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|----|--------|
| 国内 | 487,000人 | 前年同月比 | △ | 23,700人 | (△ | 4.6%) |
| 外国 | 28,200人 | 前年同月比 | + | 3,900人 | (+ | 16.0%) |
| 合計 | 515,200人 | 前年同月比 | △ | 19,800人 | (△ | 3.7%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|----|--------|-----|-------|
| 東京 | 241,500人 | 前年同月比 | △ | 20,200人 | (△ | 7.7%) | 構成比 | 46.9% |
| 関西方面 | 101,700人 | 前年同月比 | △ | 4,500人 | (△ | 4.2%) | 構成比 | 19.7% |
| 福岡方面 | 61,100人 | 前年同月比 | + | 4,600人 | (+ | 8.1%) | 構成比 | 11.9% |
| 名古屋 | 35,300人 | 前年同月比 | △ | 4,400人 | (△ | 11.1%) | 構成比 | 6.9% |

3. 概況と見通し

国内客については、集客が期待されていた大型連休は、景気の低迷と予約時期に沖縄で新型インフルエンザの感染が拡大した影響等により、ほぼ前年並みに推移した。9月全体としては、景気低迷による旅行手控えや低価格志向の影響を大きく受け、前年同月実績を下回った。

外国客については、クルーズ船の寄港回数が前年よりも多かったこと、個人旅行需要が好調であること等から前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、引き続き景気低迷の影響を受け旅行手控えが続くことが見込まれる。9月以降は沖縄への修学旅行が多い時期となるが、発地側の新型インフルエンザの影響が懸念される。

外国客については、10月は、台風17号・20号の影響でクルーズ船の寄港が数件キャンセルになり減少するが、11月以降の寄港予定は前年を上回っていることに加え、手控えられていた団体旅行に回復のきざしが見られることから、ほぼ前年並みに推移することものと見込まれる。

4. 11月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|----------------|---|
| 首里城祭り | 日程:10月30日(金)~11月3日(火) 場所:首里城公園下之御庭(伝統芸能・組踊)、国際通り(琉球王朝絵巻行列) 内容:首里城祭のメインイベント「琉球王朝絵巻行列」は、琉球王朝時代、中国皇帝の使者である冊封使(さっぽうし)が訪れたときの行列をアレンジしたもので、豪華絢爛な行列が見物です。 昨年の参加者数:約28万人 |
| ツール・ド・おきなわ2009 | 日程:11月7日(土)~8日(日) 場所:名護市民会館(スタート・フィニッシュ) 昨年の参加者数:約3500名(うち県外 約2000人) 内容:沖縄のやんばる路を走り抜ける、サイクルスポーツの祭典。大会では、沖縄本島330kmを1泊2日で走破する本島一周サイクリングをはじめ、国外招待チームやトップレーサーたちも参加する国際ロードレースUCI公認の男子チャンピオンレース200km、6種の市民レース、やんばるの離島体験コースなど、2日間に渡り多彩な種目が展開されます。 問い合わせ先:NPO法人ツール・ド・おきなわ協会 TEL:0980-54-3174 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気の低迷による旅行手控えや低価格志向に加え、10月から燃油サーチャージが再設定されるため海外旅行へのかけこみ需要があったことも影響し、前年同月実績を下回った。
- 低価格志向が続いており、旅行マインドは伸び悩んでいる。団体客を中心に10月の集客状況は悪く、11月もさらに厳しい予約状況となっており、厳しい状況が続くものと見込まれる。

関西

- 大型連休は、予約時期に沖縄での新型インフルエンザ流行があったこと等により、ほぼ前年並みとなった。その他の時期も景気低迷や新型インフルエンザの影響で団体旅行が伸び悩むなどして、全体として前年同月実績を下回った。
- 景気低迷やそれにとまなう冬のボーナスカット等により低価格商品の予約もあまり伸びていないこと、提供座席数も引き続き減少していること等から、今後も伸び悩むとみられる。

福岡

- 新規路線開設による増便効果や、大型連休の旅行需要が好調だったことにより、前年同月実績を上回った。
- 景気低迷の影響を受け、旅行会社各社の予約状況は、10月は弱含み、11月はさらに厳しい状況となっている。福岡県では、10月9日にインフルエンザ流行注意報が発表された。これからの時期予定されている修学旅行に影響を与えることが懸念される。

名古屋

- 景気低迷による旅行手控えに加え、予約時期の新型インフルエンザ報道の影響により団体・個人旅行ともにキャンセルが多く発生し、前年同月実績を下回った。
- 雇用情勢の悪化や、冬場のボーナスカット等、先行きへの不安感から伸び悩んでおり、10月以降も厳しい状況が続くものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- スタークルーズが昨年同月を上回るペースで送客を行ったこと、チャーター便による送客も順調なことから、前年同月実績を上回った。
- 10月の海路客については、台風17号・20号によってクルーズ船がキャンセルになったことで減少するが、11月以降は、個人旅行が引き続き好調であること、手控えられていた団体旅行も持ち直しつつあることから、前年並みとなることが見込まれる。

韓国

- 韓国国内の景気低迷の影響により、インセンティブツアーや団体旅行は伸び悩んだものの、個人旅行需要が好調だったこともあり、ほぼ前年並みに推移している。
- 10月に韓国からのチャーター便2本が予定されていることや、新型インフルエンザによる旅行手控えも落ち着き、11月以降のインセンティブツアーが数件確定しており、堅調に推移することが見込まれる。

上海(中国本土)

- 定期便による送客が昨年よりも多かったことや杭州からのチャーター便の就航、海路客も好調だったことにより、前年同月実績を上回った。
- 10月の国慶節の送客が順調だったこと、11月以降にもリゾートウエディングや団体のツアーが造成されていることから、概ね堅調に推移することが見込まれる。

香港

- 昨年、定期便に加え催行されていたビバマカオ航空によるチャーター便が今年はないことにより、前年同月実績を下回った。
- 10月は、国慶節に定期便が一日2便の運航になるが、上記チャーター便が今年はないこと前年実績を下回る見込み。今後は香港における旅行の閑散期に入り、定期便の減便が予想されることから、前年同月実績並みか微減となることが見込まれる。

入域観光客統計概況

－平成21年10月分－

10月の入域観光客数は、479,900人。前年同月比は△12.3%(△67,100人)だった。4月から10月までの入域観光客数の累計は、3,423,300人。前年同期比は△5.3%(△190,500人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|----------|
| 国内 | 454,900人 | 前年同月比 | △ | 61,300人 | (△11.9%) |
| 外国 | 25,000人 | 前年同月比 | △ | 5,800人 | (△18.8%) |
| 合計 | 479,900人 | 前年同月比 | △ | 67,100人 | (△12.3%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|----------|-----|-------|
| 東京 | 238,900人 | 前年同月比 | △ | 26,000人 | (△9.8%) | 構成比 | 49.8% |
| 関西方面 | 82,300人 | 前年同月比 | △ | 11,000人 | (△11.8%) | 構成比 | 17.1% |
| 福岡方面 | 54,300人 | 前年同月比 | △ | 2,900人 | (△5.1%) | 構成比 | 11.3% |
| 名古屋 | 35,400人 | 前年同月比 | △ | 10,400人 | (△22.7%) | 構成比 | 7.4% |

3. 概況と見通し

国内客については、景気低迷による旅行手控えや先行きへの不安感、低価格志向等複合的にマイナス要因が重なり、前年同月実績を下回った。

外国客については、国慶節により旅行需要が好調だったものの、台風17号・20号の影響で予定されていた定期クルーズ船の寄港が3回キャンセルされたことにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、景気は持ち直しつつあるものの、冬のボーナスカット、雇用情勢の厳しさによる景気への先行きへの不安感等から、旅行手控えが続くことが見込まれる。今後、新型インフルエンザの第二波の影響も懸念される。

11月以降は、クルーズ船の予定寄港回数が前年を上回っていることに加え、個人旅行が好調であることから、外国客については、ほぼ前年並みに推移することが見込まれる。

4. 12月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|---------------------------------|--|
| 第25回 NAHAマラソン | 日程:12月6日(日) 場所:国道58号線旭橋交差点(スタート)・奥武山陸上競技場(ゴール) 内容:NAHAマラソンは毎年約2万人のジョガーが参加する、日本を代表する市民マラソン。県外や国外から毎年多くのランナーが参加し、制限時間6時間以内での完走をめざす。沖縄を代表するスポーツイベントのひとつとなっている。 昨年の参加者数:約2万人 問い合わせ先:NAHAマラソン協会事務局 TEL:098-862-9902 |
| KYORAKU CUP第10回 日韓女子プロゴルフ対抗戦 | 日程:12月1日(火)～5日(土) 会場:琉球ゴルフクラブ(沖縄県南城市) 出場者数:両国12人によるシングルス12組 主催:(株)京楽産業、(株)毎日放送 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)
TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気低迷や低価格志向に加え、新型インフルエンザ流行、他旅行先との競合等マイナス要因が複合的に影響し、前年同月実績を下回った。
- 旅行会社各社は、廉価商品による集客を図っているが、11月の予約状況は悪い。年末・年始の日並びは昨年よりも悪く、12月、1月も厳しい状況が見込まれる。

関西

- パッケージ商品が伸び悩んでいること、景気低迷や新型インフルエンザの流行により団体旅行の実施も減少したことが影響し、前年同月実績を下回った。
- 11月以降の見通しは全国的に良くないが、沖縄方面は特に厳しい状況となっている。新型インフルエンザ流行はファミリー層やシニア層の旅行需要に影響しているとみられ、冬場の旅行需要に与える影響が懸念される。

福岡

- 個人消費の落ち込み、高速道路の利用増加、新型インフルエンザの流行等マイナス要因が複合的に影響し、前年同月実績を下回った。
- 景気の不透明感や冬季ボーナスの減少により旅行手控えが続くこと、期間限定で運航していたANAの福岡ー石垣便が11月から運休すること等から、11月以降も厳しい状況が続くことが見込まれる。

名古屋

- 景気低迷や新型インフルエンザの影響を受け、出張・旅行ともに手控えられたため、前年同月実績を下回った。
- 景気低迷や低価格志向の影響を受け、11月も厳しい状況が続くものと見込まれる。12月から1月にかけては、一部に回復の動きが見られるものの、依然として旅行の手控えが続いている。

2. 海外

台湾

- 10月は、台風17号・20号の影響で定期クルーズの寄港が3回キャンセルになったことにより、前年同月実績を下回った。
- 定期クルーズの運航が10月で終了することに加え、台湾における失業率の悪化、円高傾向等により、伸び悩むことが見込まれる。

韓国

- チャーター便による個人旅行が好調だったこと、小規模な団体ツアーや韓国のプロ野球球団の沖縄キャンプの実施もあったことから、前年同月実績を大きく上回った。
- 韓国は冬場が観光シーズンとなっており、11月から年末にかけても、チャーター便による送客、インセンティブツアーやゴルフツアーが予定されているため、堅調に推移することが見込まれる。

上海(中国本土)

- 10月はチャーター便による国慶節の送客があったこと、団体ツアーも数件造成されたことから前年同月実績を上回った。
- 11月以降のツアー造成や沖縄旅行への問い合わせは、昨年よりも増えており、概ね堅調に推移することが見込まれる。

香港

- 昨年、定期便に加え催行されていたビバマカオ航空によるチャーター便が今年はないことにより、前年同月実績を下回った。
- 12月までは、昨年に比べ座席総数が上記チャーター便分減少するため、前年同月実績を下回る見込み。定期便のデイリー運航が継続されれば、1月以降は堅調に推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成21年11月分—

11月の入域観光客数は、426,300人。前年同月比は△12.2%(△59,200人)だった。4月から11月までの入域観光客数の累計は、3,849,600人。前年同期比は△6.1%(△249,700人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|----------|
| 国内 | 411,300人 | 前年同月比 | △ | 56,000人 | (△12.0%) |
| 外国 | 15,000人 | 前年同月比 | △ | 3,200人 | (△17.6%) |
| 合計 | 426,300人 | 前年同月比 | △ | 59,200人 | (△12.2%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|----------|-----|-------|
| 東京 | 206,500人 | 前年同月比 | △ | 23,100人 | (△10.1%) | 構成比 | 48.4% |
| 関西方面 | 69,200人 | 前年同月比 | △ | 9,300人 | (△11.8%) | 構成比 | 16.2% |
| 福岡方面 | 56,800人 | 前年同月比 | △ | 5,300人 | (△8.5%) | 構成比 | 13.3% |
| 名古屋 | 33,100人 | 前年同月比 | △ | 11,400人 | (△25.6%) | 構成比 | 7.8% |

3. 概況と見通し

国内客については、景気低迷や先行きへの不安感による旅行手控え、低価格志向等複合的にマイナス要因が重なり、前年同月実績を下回った。

外国客については、定期クルーズが10月で終了したこと、昨年あった香港-那覇のチャーター便の運航が今年はなかったこと等により、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、景気低迷や先行きへの不安感等から、旅行手控えが続くものとみられる。年末・年始は、高速道路を利用した近場への旅行や、海外旅行との競合が予想される。

12月から2月までは、クルーズ船の予定寄港回数が前年よりも多いこと、チャーター便の運航や個人旅行の好調さにより、外国人客については、ほぼ前年並みに推移することが見込まれる。

4. 1月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|--------------------------------------|--|
| 第1回 美ら島オキナワ Century Run 2010 | 日程:1月17日(日) 場所:恩納村、うるま市、名護市、今帰仁村、宜野座村、金武町 参加者数:1300人(県外約6割) 内容:スポーツコンベンションアイランド「OKINAWA」の新たな核となるイベントとして、自転車競技のロードレースを開催予定。中部から北部にかけて、4コースを設定する。 主催:美ら島オキナワCentury Run 2010実行委員会 |
| 沖縄三大桜祭り(本部八重岳桜祭り・今帰仁グスク桜まつり・名護さくら祭り) | 日程:1月23日(土)~1月31日(日) 場所:本部町、今帰仁村、名護市 今回から新しい取り組みとして、日本一早い桜まつりである、本島北部3市町村の桜まつりを周遊ルート化し「沖縄三大桜祭り」として、県外からの誘客拡大を図る。期間中、それぞれの桜まつりの会場で地域の特色を活かした新たなイベントが展開される。 県外集客目標:1万5千人 問い合わせ:県観光振興課 098-866-2764 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気低迷や低価格志向に加え、他旅行先との競合等マイナス要因が複合的に影響し、前年同月実績を下回った。
- 旅行会社各社は、低価格商品による集客を図っているが、年末・年始の予約状況は良くない。落ち込みの大きかった昨年を上回るのも厳しい見通し。

関西

- 長引く景気低迷や新型インフルエンザの影響等による旅行マインドの減少、一般団体旅行の減少等により、前年同月実績を下回った。
- 年末・年始の日並びにより休みが昨年よりも短く、高速道路を利用した近場の旅行が増加している。就職難の影響で卒業旅行需要が減少することも懸念される。

福岡

- 個人消費の落ち込み、高速道路の利用増加、新型インフルエンザの流行等マイナス要因が複合的に影響し、前年同月実績を下回った。
- 1、2月以降一部に持ち直しのきざしが見られるものの、今後も所得の減少や景気の先行きへの不安感による旅行手控えが続くと見られる。

名古屋

- 景気低迷の影響を大きく受け、出張・旅行ともに手控えられたため、前年同月実績を下回った。
- 景気低迷の影響により、12月以降も厳しい状況が続くものと見込まれる。予約の間際化が進んでおり先が読みにくなっているが、今後も出張・旅行ともに手控えが続く見通し。

2. 海外

台湾

- 今年は、10月に定期クルーズが終了したことが影響し、前年同月実績を下回った。
- 11月以降、定期クルーズの運航はないが、石垣島を結ぶチャーター便の運航があるため、前年並みに推移することが見込まれる。

韓国

- 冬場の観光シーズンを迎えて観光客数は増加傾向にあり、11月の観光客数はほぼ前年並みに推移した。
- 12月に予定されているチャーター便がほぼ満席となっており、さらに1、2月もインセンティブツアーやゴルフツアー等が予定されているため、今後も堅調に推移することが見込まれる。

上海(中国本土)

- 11月は国慶節の反動により送客数が減少したこと、昨年あった大型のインセンティブツアーの実施が今年はなかったことから、前年同月実績を下回った。
- 12月～2月にかけては、インセンティブツアーや複数の団体ツアー、チャーター便も予定されており、概ね堅調に推移することが見込まれる。

香港

- 昨年、定期便に加え催行されていたビバマカオ航空によるチャーター便が今年はなかったことにより、前年同月実績を下回った。
- 12月までは、昨年に比べ座席総数が上記チャーター便分減少するため、前年同月実績を下回る見込み。1月以降、定期便が昨年と同じ週4便となることから、1月以降は、ほぼ前年並みに推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

－平成21年12月分－

12月の入域観光客数は、430,200人。前年同月比は△7.3%(△33,800人)だった。4月から12月までの入域観光客数の累計は、4,279,800人。前年同期比は△6.2%(△283,500人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|-----------|
| 国内 | 419,600人 | 前年同月比 | △ | 36,700人 | (△ 8.0%) |
| 外国 | 10,600人 | 前年同月比 | + | 2,900人 | (+ 37.7%) |
| 合計 | 430,200人 | 前年同月比 | △ | 33,800人 | (△ 7.3%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|-----------|-----|-------|
| 東京 | 211,800人 | 前年同月比 | △ | 18,600人 | (△ 8.1%) | 構成比 | 49.2% |
| 関西方面 | 78,700人 | 前年同月比 | △ | 400人 | (△ 0.5%) | 構成比 | 18.3% |
| 福岡方面 | 51,000人 | 前年同月比 | △ | 2,000人 | (△ 3.8%) | 構成比 | 11.9% |
| 名古屋 | 35,800人 | 前年同月比 | △ | 7,700人 | (△ 17.7%) | 構成比 | 8.3% |

3. 概況と見通し

国内客については、厳しい雇用情勢や所得減少を反映して旅行手控えが続いている。また、昨年よりも割安感のある海外や高速道路を利用した近場旅行へのシフトもあり、前年同月実績を下回った。

外国客については、クルーズ船の寄港回数が昨年を上回ったこと、各方面からチャーター便が運航され空路も好調だったことから、前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、景気低迷による旅行手控えが続き前年実績を下回るものの、減少幅は改善される見通し。

外国客については、2月まではクルーズ船の予定寄港回数が昨年よりも多いこと、チャーター便が複数予定されていること等から、順調に推移することが見込まれる。

4. 2月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|----------------|--|
| 2010プロ野球春季キャンプ | 今年も2月上旬から3月初旬までの間、プロ野球球団がキャンプを予定している。昨年に引き続き、国内プロ野球9球団、韓国プロ野球3球団の計12球団が来県する。また2月20日から、今年のペナントレースを占うオープン戦が各球場で開催される。 |
| 沖縄花のカーニバル2010 | 日程：1月16日(土)～5月5日(水) 場所：首里城公園、海洋博公園、伊芸SA、今帰仁城跡、八重岳桜の森公園、名護市内、久米島だるま山公園、他。※各イベントにより異なります。 2月には、美ら海はなまつり・沖縄国際洋蘭博覧会・首里城花まつり等が予定されている。 問い合わせ：(財)沖縄観光コンベンションビューロー |
| 海外チャーター便 | 1月から3月までは各方面からチャーター便が予定されている。 北京-那覇(1/27～3/1) 台湾-石垣(1月～3月) 成都-那覇(2/14) |

担当：観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 厳しい雇用情勢や所得減少の影響を受け旅行手控えが続いており、前年同月実績を下回った。
- 1月から2月にかけては前年割れで推移するが、減少幅は改善される見通し。しかし、個人消費は弱い動きが続いており、楽観できない。

関西

- 景気低迷による旅行手控えがつづくなか、修学旅行が堅調だったこと、神戸-那覇間の新規路線開設により提供座席数が増加したこと等から、前年同月実績微減となった。
- 1月～3月までは、旅行手控えの影響を受けるものの、ほぼ前年並みで推移すると見られる。

福岡

- 景気低迷による旅行手控えが続くなか、高速道路を利用した旅行先へのシフト等から、前年同月実績を下回った。
- 低価格商品を中心に一部持ち直しの動きが見られるものの、先行きへの不安感等から旅行手控えは続くと思われる。

名古屋

- 景気低迷の影響により、出張・旅行ともに手控えられ、前年同月実績を下回った。
- 所得や雇用情勢の悪化により、旅行は手控えられており、団体客を中心に厳しい状況が続くものと見られる。

2. 海外

台湾

- 定期便による送客も堅調だったことに加え、台湾-石垣間のチャーター便運航もあったことから、前年同月実績を上回った。
- 1月は旧正月前で旅行が手控えられるが、2月は臨時便の運航もあり堅調に推移すると見られる。

韓国

- 為替相場の安定とともに旅行マインドも回復し、インセンティブツアーやチャーター便による送客も好調だったため、昨年と比べ倍増した。
- 1、2月にかけては、冬休みや旧正月があるため堅調な推移が見込まれる。3月は休みが少なくなるため伸び悩むと見られる。

上海(中国本土)

- 複数のツアーが催行されたこと、年末に天津からのチャーター便が運航されたことから前年同月実績を上回った。
- 2月までは、チャーター便が予定されていること、3月にもインセンティブツアーやリゾートウエディングが予定されていることから、順調に推移することが見込まれる。

香港

- 昨年、定期便に加え催行されていたビバマカオ航空によるチャーター便が今年はなかったことにより、前年同月実績を下回った。
- 1月以降、定期便が昨年と同じ週4便となることから、ほぼ前年並みに推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成22年1月分—

1月の入域観光客数は、418,300人。前年同月比は△0.5%(△2,000人)だった。
4月から1月までの入域観光客数の累計は、4,698,100人。前年同期比は△5.7%(△285,500人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|--------|-----------|
| 国内 | 408,900人 | 前年同月比 | △ | 3,100人 | (△ 0.8%) |
| 外国 | 9,400人 | 前年同月比 | + | 1,100人 | (+ 13.3%) |
| 合計 | 418,300人 | 前年同月比 | △ | 2,000人 | (△ 0.5%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|--------|----------|-----|-------|
| 東京 | 205,100人 | 前年同月比 | + | 400人 | (+ 0.2%) | 構成比 | 49.0% |
| 関西方面 | 72,500人 | 前年同月比 | △ | 1,300人 | (△ 1.8%) | 構成比 | 17.3% |
| 福岡方面 | 54,000人 | 前年同月比 | + | 4,400人 | (+ 8.9%) | 構成比 | 12.9% |
| 名古屋 | 37,000人 | 前年同月比 | △ | 1,300人 | (△ 3.4%) | 構成比 | 8.8% |

3. 概況と見通し

国内客については、景気低迷による旅行手控え等により、前年同月実績を下回った。しかし、低価格商品による集客は好調だったため減少幅は縮小した。

外国客については、クルーズ船の寄港回数が昨年より多かったこと、複数のチャーター便運航があったこと等から、前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、2月は前年実績を上回る見通し。3月以降は、旅行手控えが続くものの、低価格商品による集客増加が見込まれるため、緩やかに回復すると見られる。

外国客については、2月はクルーズ船の予定寄港回数が昨年よりも多く、チャーター便が複数予定されていること等から、順調に推移することが見込まれる。定期便の運航回数が増える4月までは、ほぼ前年並みで推移すると見られる。

4. 3月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|------------------------------|--|
| サンゴの日記念「行っちゃお！'おきなわ'フェスティバル」 | 日程:3月5日(金)~7日(日) 場所:有楽町イトシア前広場・東京交通会館・銀座わしたショップ 内容:沖縄が誇る自然景観・環境・健康ブランドをサンゴの日と絡めて発信し、冬場の有楽町・銀座における「沖縄フェスティバル」として定着させていく。 問い合わせ先:(財)沖縄観光コンベンションビューロー |
| 第2回沖縄国際映画祭 | 日程:3月20日(土)~28日(日) 会場:沖縄県宜野湾市及び周辺地区 内容:2回目となる今回も、「Laugh&Peace」【笑顔(笑い)と心のやすらぎ(平和)】をコンセプトに、映画・映像を通して万人のこころが通じ合う新しい映画祭&映像祭を目指す。 昨年の来場者数:約11万人 問い合わせ先:沖縄国際映画祭実行委員会 |
| 第1回沖縄国際アジア音楽祭 | 日程:3月26日(金)~28日(日) 会場:那覇市国際通り・沖縄市音楽市場他 内容:いろいろな音楽や人々が交差し、そしてそこで生まれる音楽を通じた出会いや感動を、新たなエネルギーとして沖縄から世界に発信する。 問い合わせ先:沖縄国際アジア音楽祭実行委員会事務局(沖縄県文化環境部文化振興課内) |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 厳しい雇用情勢や所得減少の影響を受け旅行手控えが続いているが、低価格商品の売れ行きは良かったため、前年同月実績を上回った。
- 2月から3月にかけては前年を上回る見通し。観光客数は増加するが、旅行マインドの本格的な回復には至っていないと見られ、楽観できない状況である。

関西

- 長引く景気低迷の影響で、低価格商品に動きはあるものの、全体的な旅行客増加には結びつかなかったことから、前年同月実績を下回った。
- 低価格商品の予約は伸びており、航空会社の提供座席数も昨年に比べ増加していることから、減少幅は改善に向かう見通し。

福岡

- 年末・年始は日並びの悪さもあり前年並みだったが、その後、低価格商品を中心に好調に推移したことから前年同月実績を上回った。
- 景気回復の実感は乏しく、旅行需要の大幅な改善は見込めないものの、各種特典付きの低価格商品を中心に予約が伸びている。2、3月は学生旅行需要も期待できることから、前年並みに推移すると見られる。

名古屋

- 景気低迷の影響により、出張・旅行ともに手控えられ、前年同月実績を下回った。
- 2、3月は引き続き景気低迷の影響を受けるものの、低価格商品の予約数は伸びており、前年並みに推移すると見られる。4月以降は、団体旅行の回復が一部に見られ、集客増加が期待される。

2. 海外

台湾

- 去年は1月だった旧正月が今年は2月になり、旅行需要が2月へシフトしたため、前年同月実績を下回った。しかし石垣-台湾のチャーター便運航があったため、小幅な減少にとどまった。
- 2月は旧正月中に臨時便の運航もあることから、順調に推移すると見られる。4月から定期便が1日2便になるため観光客数の増加が期待される。

韓国

- 為替相場の安定とともに旅行マインドも回復しつつあり、インセンティブツアーやゴルフツアーによる送客も好調だったため、昨年と比べ大幅に増加した。
- 冬休みや旧正月があり、休みが2月末まで続くため、順調に推移することが見込まれる。3月以降は休みが少なくなるため伸び悩むが、旅行会社3社とのホームショッピング販売支援により集客を図る。

上海(中国本土)

- 北京からのチャーター便があったものの、旧正月前の旅行手控えがあったことから、前年同月実績を下回った。
- 2月は、複数のチャーター便や各種ツアーが実施されることから、昨年に比べ大幅に増加する見通し。3月以降もインセンティブツアーやチャーター便が予定されているため、堅調に推移することが見込まれる。

香港

- 香港において旅行先としての沖縄の認知度が高まっており、定期便の搭乗率も安定してきていることから、前年同月実績を上回った。
- 2月は旧正月の旅行需要が見込まれるため、堅調に推移すると見られる。4月からは定期便がデAILY化する予定であることから、順調に推移することが見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成22年2月分—

2月の入域観光客数は、447,000人。前年同月比は+8.1%(+33,500人)だった。
4月から2月までの入域観光客数の累計は、5,145,100人。前年同期比は△4.7%
(△252,000人)だった。

1. 国内外別入域状況

| | | | | | |
|----|----------|-------|---|---------|------------|
| 国内 | 432,100人 | 前年同月比 | + | 23,500人 | (+ 5.8%) |
| 外国 | 14,900人 | 前年同月比 | + | 10,000人 | (+ 204.1%) |
| 合計 | 447,000人 | 前年同月比 | + | 33,500人 | (+ 8.1%) |

2. 主要航路別入域状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-------|---|---------|-----------|-----|-------|
| 東京 | 211,900人 | 前年同月比 | + | 11,600人 | (+ 5.8%) | 構成比 | 47.4% |
| 関西方面 | 75,600人 | 前年同月比 | + | 5,600人 | (+ 8.0%) | 構成比 | 16.9% |
| 福岡方面 | 56,900人 | 前年同月比 | + | 5,300人 | (+ 10.3%) | 構成比 | 12.7% |
| 名古屋 | 44,000人 | 前年同月比 | △ | 500人 | (△ 1.1%) | 構成比 | 9.8% |

3. 概況と見通し

国内客については、昨年2月の減少幅が大きかったこと、低価格商品が好調だったこと官民一体となった誘客プロモーションが奏功したことなどから、前年実績を上回った。

外国客については、昨年は1月だった旧正月連休が今年は2月だったこと、チャーター便やクルーズ船が昨年より多かったことから、前年同月実績を大きく上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、3月、4月は、低価格商品に動きがあること、大型イベントの開催があることから堅調に推移するものと見られる。5月は、連休の日並びが良いため集客増加が期待される。

外国客については、3月はほぼ前年並みで推移すると見られる。4月は台湾・香港からの定期便の運航回数が増えるため堅調に推移すると見られる。

4. 4月のトピックス

| 事項 | 内容 |
|----------------------------------|---|
| 琉球海炎祭2010 | 日程:4月10日(土) 開催地:宜野湾海浜公園 内容:澄んだ海と満点の星空をステージに、壮大な花火イリュージョンが今年で7回目を迎え、さらにスケールアップして開催される。 最新のテクノロジーを駆使して、沖縄音楽や今年の流行曲などをメインに、テンポのよい音楽に合わせて花火ショーが展開される。 お問い合わせ先:琉球海炎祭実行委員会事務局 TEL:098-897-2764 |
| TOKYO GIRLS COLLECTION in Okinwa | 日程:4月24日(土)14:00~19:00 会場:沖縄コンベンションセンター 主催:東京ガールズコレクション実行委員会 内容:日本で1番に夏を先取りする沖縄にて、東京ガールズコレクション国内初の地方開催が決定。「日本のリアルクローズを世界へ」をテーマに年2回開催されている、ファッションフェスタ東京ガールズコレクションのサマーエディションが登場する。 |

担当:観光企画課 宮良(みやら)

TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 昨年2月は減少幅が大きかったこと、低価格商品が好調だったことから、前年同月実績を上回った。
- 旅行需要は本格的な回復に至っていないものの、低価格商品に動きがあること、大型イベントの開催があることから、3月、4月は、堅調に推移することが見込まれる。

関西

- 昨年2月の落ち込みが大きかったこと、低価格商品の売れ行きが好調であったことから、前年同月実績を上回った。
- 3月は、低価格商品に動きがあるものの、学生旅行が苦戦していることから伸び悩むと見られる。4月以降は、ほぼ前年並みの予約状況であるため、堅調に推移すると見られる。

福岡

- 低価格商品を中心に好調に推移したこと、福岡-石垣直行便の季節運航があったことから、前年同月実績を上回った。
- 各種特典付きの低価格商品を中心に予約が伸びており、3月、4月は堅調に推移すると見られる。5月以降、北九州-那覇線の運休による影響が懸念される。

名古屋

- 低価格商品は好調だが、旅行需要は本格的な回復には至っておらず、前年同月実績を下回った。昨年実績の減少幅が大きかったため、小幅な減少にとどまった。
- 3月、4月ともに旅行会社各社の予約状況では前年を上回っている。5月のゴールデンウィークは日並びが良いため、集客増加が期待される。

2. 海外

台湾

- 昨年は1月だった旧正月が今年は2月だったため、前年同月実績を大きく上回った。石垣-台湾のチャーター便運航があったことも底上げにつながった。
- 3月は旧正月の反動もあり、ほぼ前年並みに推移すると見られる。3月末から定期便が1日2便になるため、4月以降観光客数の増加が期待される。また、5月からは定期クルーズ船の運航も始まる。

韓国

- 2月は、旧正月と春休みがあり、家族旅行や各種インセンティブツアーが大きく増加したため、昨年と比べ大幅に増加した。
- 3月、4月は、休みが少なくなり個人旅行やパッケージ商品は伸び悩むものの、ホームショッピング販売による送客があるため、ほぼ前年並みに推移すると見られる。

上海(中国本土)

- 2月は旧正月連休を利用したチャーター便の就航やツアー造成が活発だったため、前年同月実績を大きく上回った。
- 3月、4月は、インセンティブツアーやチャーター便が予定されているため、概ね堅調に推移すると見られる。

香港

- 2月は旧正月の旅行需要があったこと、旧正月期間中に定期便が増便されたことから、前年同月実績を大きく上回った。
- 3月は、定期便がデイリー化することからほぼ前年並みと見られる。4月は、イースター休暇期間中、定期便が一日2便運航になることから順調に推移することが見込まれる。

平成22年(2010年) 3月 (速報版) 入域観光客統計概況

3月の観光客数は、54万4,900人
対前年同月比 +7,700人、+1.4%
～2ヶ月連続で前年実績を上回った～

国内外別入域状況

| 区分 | 入域観光客数 | 前年同月比(人) | 前年同月比(%) |
|-----|-----------|-----------|----------|
| 国内客 | 529,800 人 | + 2,900 人 | + 0.6% |
| 外国客 | 15,100 人 | + 4,800 人 | + 46.6% |

主要航路別入域状況

| 区分 | 入域観光客数 | 前年同月比(人) | 前年同月比(%) | 構成比(%) |
|------|-----------|-----------|----------|--------|
| 東京 | 253,400 人 | △ 3,200 人 | △ 1.2% | 46.5% |
| 関西方面 | 95,900 人 | △ 1,300 人 | △ 1.3% | 17.6% |
| 福岡方面 | 70,100 人 | + 6,800 人 | + 10.7% | 12.9% |
| 名古屋 | 52,300 人 | △ 1,700 人 | △ 3.1% | 9.6% |

概況

- 国内客については、中旬までは旅行需要の低迷を受け伸び悩んだものの、下旬には、沖縄で大型イベントの開催があったため好調に推移し、全体として前年同月実績を上回った。特に、福岡方面からの送客は好調だった。また、国内クルーズの寄港が昨年よりも1回多かったことも底上げにつながったと見られる。
- 外国客については、定期便の利用も好調だったことに加え、台湾や重慶からのチャーター便の運航があったこと、クルーズ船による送客数が昨年より多かったことから、前年同月実績を上回った。

今後(1～3ヶ月後)の見通し

- 国内客については、まだ旅行需要が本格的な回復には至っていないものの、4月は、低価格商品や団体商品に一部動きがあることから、前年並みに推移するものと見られる。5月は、連休の日並びが良いため集客増加が期待される。連休後については、東京方面の予約状況が良くないこと、福岡方面の提供座席数が減少することから、現時点では不透明な状況である。
- 外国客については、4月、5月は台湾・香港からの航空定期便の運航回数が増えるため堅調に推移すると見られる。また、5月から台湾からの定期クルーズ船の運航も開始されるため海路客の増加も見込まれる。

5月のトピックス

| 上旬 | 下旬 |
|-----------------------------------|--|
| 「第36回 那覇ハーリー」 日程:5月3日(月)～5日(水) | 「第11回 ビーチバレー宮古島大会2010」 日程:5月22日(土)、23日(日) |

※入域観光客数とは・・・
沖縄県に入域する者(沖縄県在住者を除く)全ての人数。

担当:観光企画課 宮良(ミヤラ)
TEL:098-866-2763